9月9日(水)15:30～17:30／学生活動スペース(2)

# 授業進度を落とさずアクティブラーニング
# TBL(Team Based Learning:チーム基盤学習)の実際

## ■講師

立川　明
(高知大学総合教育センター・大学教育創造部門・准教授)

高知大学理学部化学科卒、九州大学大学院分子工学専攻前期博士課程修了、高知大学理学部助手を経て、現職。

## ■プログラム概要

TBL:チーム基盤学習はPBLの一種ともとらえられます。従来型のPBLで成果を上げている方もおられると思いますが、進度や担当教員あたりの学生数など、問題が生じる場合もあるでしょう。TBL ではこれらの問題を解決し、かつアクティブラーニングを行うことができます。

このワークショップでは、情報処理授業の一コマ(電子メール)を例に実際に TBL の授業を体験し、自分の授業に導入することを想定して意見交換をします。TBL は教科書に沿って授業を進める科目、あるいは事前に次回の学習内容について資料が配付できる科目で容易に導入できます。

TBL を開始してまだ 2 年ですが、この間の知見を基にコツなどもお伝えできると思っています。

## ■本プログラムの到達目標

1. 自分の授業に TBL を導入した場合の授業の進め方がわかること。
2. 非アクティブラーニング型授業や従来型 PBL と比較して、TBL 授業の利点が具体的に 3 つ以上あげられること。
3. アクティブラーニングの 7 つ道具を自分でそろえられること。